



郵送または電子メール等

通知名	通知時期	通知内容
ご契約状況のお知らせ	年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご契約内容</li> <li>通知作成日における保障内容(基本保険金額など)</li> <li>積立金残高割合、繰入割合 など</li> </ul>
特別勘定の現況	年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>1事業年度における特別勘定の詳細</li> </ul>

**お電話** 各種お問い合わせ、ご請求を承ります。  
 カスタマーサービスセンター TEL 0120-936-133

受付時間	お問い合わせ内容
月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00 ※日・祝日、年末年始のアクサ生命休業日を除く	<ul style="list-style-type: none"> <li>積立金額の照会</li> <li>保険料振替口座の変更</li> <li>契約名義の変更</li> <li>ご契約内容に関するお問い合わせ・ご確認 など</li> </ul>

インターネット <https://myweb.axa.co.jp/>

情報更新時期	情報内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご契約内容、保障内容(基本保険金額など)、計算基準日現在の払いもどし金額</li> <li>積立金額(積立金残高、繰入割合)</li> <li>ユニットプライス</li> </ul>
毎月初め	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去18ヵ月間の各月の積立金額</li> </ul>
年12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用実績レポート</li> </ul>
年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別勘定の現況:1事業年度における特別勘定の詳細</li> </ul>
年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算報告書:アクサ生命の1事業年度における決算報告書</li> </ul>

※インターネットによる情報提供は、Emma by アクサにご登録のうえご利用ください。Emma by アクサについて詳しくは17～18ページをご覧ください。



便利な Emma by アクサに是非ご登録ください。

証券番号をご用意ください!

最短3分ほどで登録完了!  
登録はこちらから



Emma by アクサ TOPページ <https://myweb.axa.co.jp> または Emma by アクサ

※Emma by アクサは、ご契約に関するお手続きなどをパソコン・スマートフォンから24時間いつでもご利用いただけるウェブサービスです。

- 生命保険募集人について  
募集代理店の担当者(生命保険募集人)は、お客さまとアクサ生命の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申込みに対してアクサ生命が承諾したときに有効に成立します。
- この保険の販売資格について  
この保険の販売は、生命保険協会が実施する「変額保険販売資格試験」に合格し、生命保険協会に氏名が登録された者のみが行えます。募集代理店の担当者(生命保険募集人)の販売資格などに関しまして確認をご希望の場合は、カスタマーサービスセンター(TEL 0120-326-513 受付時間:9:00～17:00 土・日・祝日、年末年始のアクサ生命休業日を除く)までご連絡ください。

アクサ生命は強靱な地域社会づくりを支援しています。

アクサ生命は2011年より、東日本大震災で被災した子どもたちの就学と、学校での減災・防災教育を支援するために、ご契約1件につき1ユーロの寄付をはじめとした支援事業に取り組んでいます。

詳しくは、こちら▶



募集代理店  
 日本生命保険相互会社  
 NISSAY

引受保険会社  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 03-6737-7777 (代表)  
[www.axa.co.jp/](http://www.axa.co.jp/)



アクサの 資産形成 の 変額保険 ユニット・リンク

ユニット・リンク保険(有期型)

アクサの 保険料払込免除特約 ワイドケア

3大疾病保険料払込免除特約

契約年齢:0歳～65歳

未来の夢を かなえるために。

主契約:「死亡」「資金準備」 特約:「医療」  
 を希望されるお客様におすすめの保険です



この保険の引受保険会社は、アクサ生命保険株式会社です。日本生命保険相互会社は、アクサ生命保険株式会社の募集代理店です。投資リスクがあり、元本割れすることがあります。

- ✓ 特別勘定の運用実績により、損失が生じることがあります
- ✓ 費用がかかります。また、解約時には解約控除がかかります

募集代理店  
 日本生命保険相互会社  
 NISSAY

引受保険会社  
 アクサ生命保険株式会社

## 豊かな将来のために・・・ 一緒に考えましょう。

### 教育

子どもの夢がかなえられる  
教育を受けさせたい！

小学校～高校／公立、大学／私立文系  
とした場合(大学自宅の場合)

約**905万円**<sup>\*1</sup>

### 旅行

がんばった自分へのご褒美に、  
リセット旅行！

海外旅行費用

年間平均**26.3万円**<sup>\*3</sup>

### マイホーム

いつかは手に入れたい  
夢のマイホーム！

マンションの購入価格  
(新築の場合、全国平均)

**4,848万円**<sup>\*2</sup>

### セカンドライフ<sup>\*</sup>

夫婦 2人でゆとりある  
セカンドライフを送りたい！

●実支出 約**27.2万円**<sup>\*4</sup> — 実収入 約**24.6万円**<sup>\*4</sup>

●月間 約**2.6万円不足**

●ゆとりあるセカンドライフを送るためには

●月間 約**13.3万円不足**

ゆとりある生活費 **37.9万円**<sup>\*5</sup> — 実収入 約**24.6万円**<sup>\*4</sup>

●生涯 約**3,032万円不足**

約**13.3万円**×12ヵ月×19年<sup>\*6</sup>

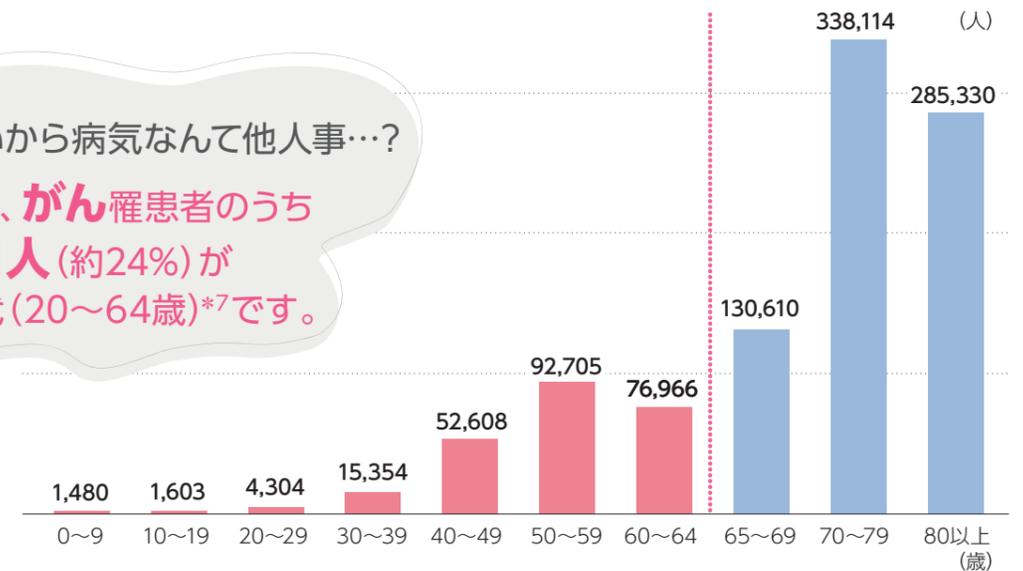
<sup>\*</sup>「セカンドライフ」は「退職後の生活」という意味を表します。

## でも、もしも**病気**で働けなくなったら・・・ 計画がくるってしまうかも・・・



まだ若いから病気なんて他人事・・・？

たとえば、**がん**罹患者のうち  
**4人に1人**(約24%)が  
現役世代(20～64歳)<sup>\*7</sup>です。

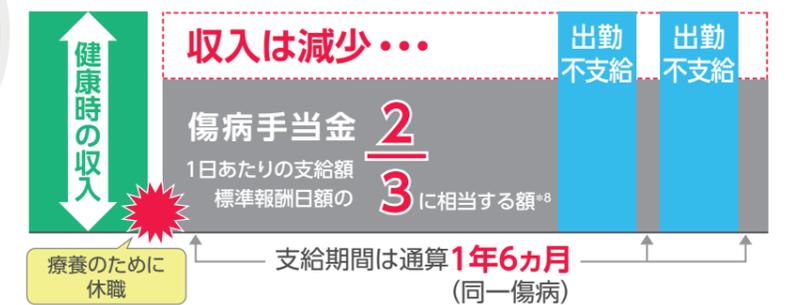


重篤な疾患で休職して、  
給与の支払いがなくなっても、  
傷病手当金の制度があるよね。

社員の場合、休職期間中は給与はありません。会社を連続して休んだ4日目以降に傷病手当金が支給されますが、支給額はそれまでの給与の3分の2<sup>\*8</sup>、支給期間は支払開始日から通算1年6ヵ月です。

●一般的に国民健康保険の加入者である自営業者等の方には傷病手当金の制度がないため、無収入となるリスクがあります。

長期にわたり仕事を休んだときの収入の変化・会社員の場合のイメージ



<sup>\*</sup>記載の公的医療保険制度の内容は2024年9月時点の内容であり、将来変更される可能性があります。

将来のためのお金はいつまでに、いくら必要になりますか？  
それはどのようにためますか？

病気になって収入が減っても  
保険料の負担なく保障や資産形成が継続できると安心です。

\*1 出典:文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」「国公立大学の授業料等の推移」「令和5年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」(株)日本政策金融公庫「令和3年度教育費負担の実態調査結果」から計算(児童手当(旧子ども手当)は考慮しないものとする)こども家庭庁ホームページ「幼児教育・保育の無償化概要」を参考に作成  
\*2 出典:住宅金融支援機構「2022年度フラット35利用者調査」  
\*3 出典:公益財団法人 日本生産性本部「レジャー白書2021」  
\*4 出典:総務省「家計調査年報(家計収支編)2022年」※高齢夫婦無職世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯)1ヵ月あたりの平均的な収支。

\*5 出典:公益財団法人生命保険文化センター「2022年度生活保障に関する調査」※「老後の最低日常生活費」と「老後のゆとりのための上乗せ額」の合計(サンプルごとに合計した値の平均値)  
\*6 男性65歳時の平均余命19.44年。出典:厚生労働省「令和4年 簡易生命表」  
\*7 出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん罹患)全国がん罹患者数(2019年)をもとにアクサ生命が作成  
\*8 傷病手当金1日あたりの金額:【支給開始日(一番最初に傷病手当金が支給された日)の以前12ヵ月間の各標準報酬月額を平均した額】÷30日×(2/3) 支給開始日の以前の期間が12ヵ月に満たない場合など、傷病手当金について詳しくは、ご加入の健康保険組合などにお問い合わせください。傷病手当金は市(区)町村が保険者の国民健康保険にはありません。

## 保障の安心

**特長 1** 死亡・高度障害保障を準備できる変額保険です。  
死亡・高度障害保険金額は**最低保証**されます。

詳しくは**5**ページ

## 資産づくりの楽しみ

**特長 2** 保険期間満了時に、特別勘定資産の運用実績に応じた満期保険金を受け取れます。  
受取方法は選択できます。

詳しくは**5**ページ

### 特別勘定とは？

運用実績に応じて保険金額や払いもどし金額などが変動するタイプの保険の資産を管理する勘定です。ご契約者からお預かりした保険料のうち、諸費用を控除した金額が特別勘定に繰り入れられ、保険会社が選定した投資対象に投資して運用を行います。  
なお、他の保険種類の資産とは区別して管理・運用が行われます。

## 将来の選択

**特長 3** 満期保険金を年金で受け取ることや、ご契約を一生涯の保障に変更することができます。

詳しくは**7**ページ

## 重篤な病気になったら

**特長 4** 対象となる疾病により所定の状態になった場合、その後の保険料のお払込みは不要です。  
保障や資産形成は変わらず続きます。

※「3大疾病保険料払込免除特約」を付加した場合。

詳しくは**5**ページ

 **ご契約者さま向けウェブサービス【Emma by アクサ】に登録すると便利な機能を利用できます！**

詳しくは**17～18**ページ

## Check! ご注意ください

**ご注意 1** **投資リスクがあります。**  
投資リスクはご契約者に帰属します。払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。

詳しくは**11**ページ  
「ご契約者が損失を被ることがあります  
(投資リスクについて)」へ

**ご注意 2** **費用がかかります。**  
お払込みいただいた保険料から必要な費用を控除しますので、払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

詳しくは**14**ページ  
「お客さまにご負担いただく  
費用があります」へ

**ご注意 3** **解約時には解約控除がかかります。**  
特に早期に解約・減額などされた場合は解約控除額が大きくなり、払いもどし金はまったくない場合もあります。

詳しくは**14**ページ  
「10年未満は解約・減額・払済保険  
への変更時に費用がかかります」へ

お申込みに際しては、「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」を十分にお読みいただき、投資リスクやご負担いただく諸費用などの内容についてご理解・ご了解ください。

# 保障内容

死亡・高度障害に備えつつ資産形成も期待できる変額保険です。

アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク



## ご注意ください

運用実績によってはお受取金額が払込保険料累計額を下回り、**損失が生じるおそれ**があります。また、この保険には**お客さまにご負担いただく費用**があります。

投資リスクについて詳しくは **11** ページ

費用について詳しくは **14** ページ

アクサの  
**資産形成**の**変額保険**  
ユニット・リンク  
アクサの  
保険料払込免除特約  
**ワイドケア**

特長

### 1 保障の安心

死亡または高度障害状態になったときは、**死亡・高度障害保険金**をお支払いします。

死亡・高度障害保険金額は、**基本保険金額**\*1または死亡された日・高度障害状態になった日の**積立金額**のいずれか大きい金額です。**基本保険金額**は最低保証されます。

リビング・ニーズ特約も付加できます。→詳しくは16ページへ

\*1 ご契約時にお決めいただく金額です。ご契約後に基本保険金額を減額された場合は、減額後の金額となります。

特長

### 2 資産づくりの楽しみ

保険期間満了時に、特別勘定資産の運用実績に応じた**満期保険金**をお支払いします。額は保険期間満了日の**積立金額**です。最低保証はありません。(払込保険料総額を下回ることがあります。)

**運用対象(特別勘定)はご自身で選択できます。**

特別勘定は13種類から最大10種類を選択し、組み合わせることができます。ご契約後も変更可能です。→詳しくは9~13ページへ

特長

### 3 将来の選択

→詳しくは次のページへ

●満期保険金を**一時金**で受け取る



※詳しくは8ページの「PLAN 3」へ

●満期保険金を**年金**で受け取る  
(年金払特約(06)の中途付加)



※詳しくは7ページの「PLAN 2」へ

●**終身保険**に変更

終身保険

※詳しくは7ページの「PLAN 1」へ

特長 「3大疾病保険料払込免除特約」を付加した場合

### 4 重篤な病気になったら

対象となる疾病により所定の状態になった場合、その後の保険料のお払込は不要です。対象となる疾病により下記のいずれかに該当したとき、以後の保険料のお払込みを免除します。

#### 3大疾病保険料払込免除特約

ガン

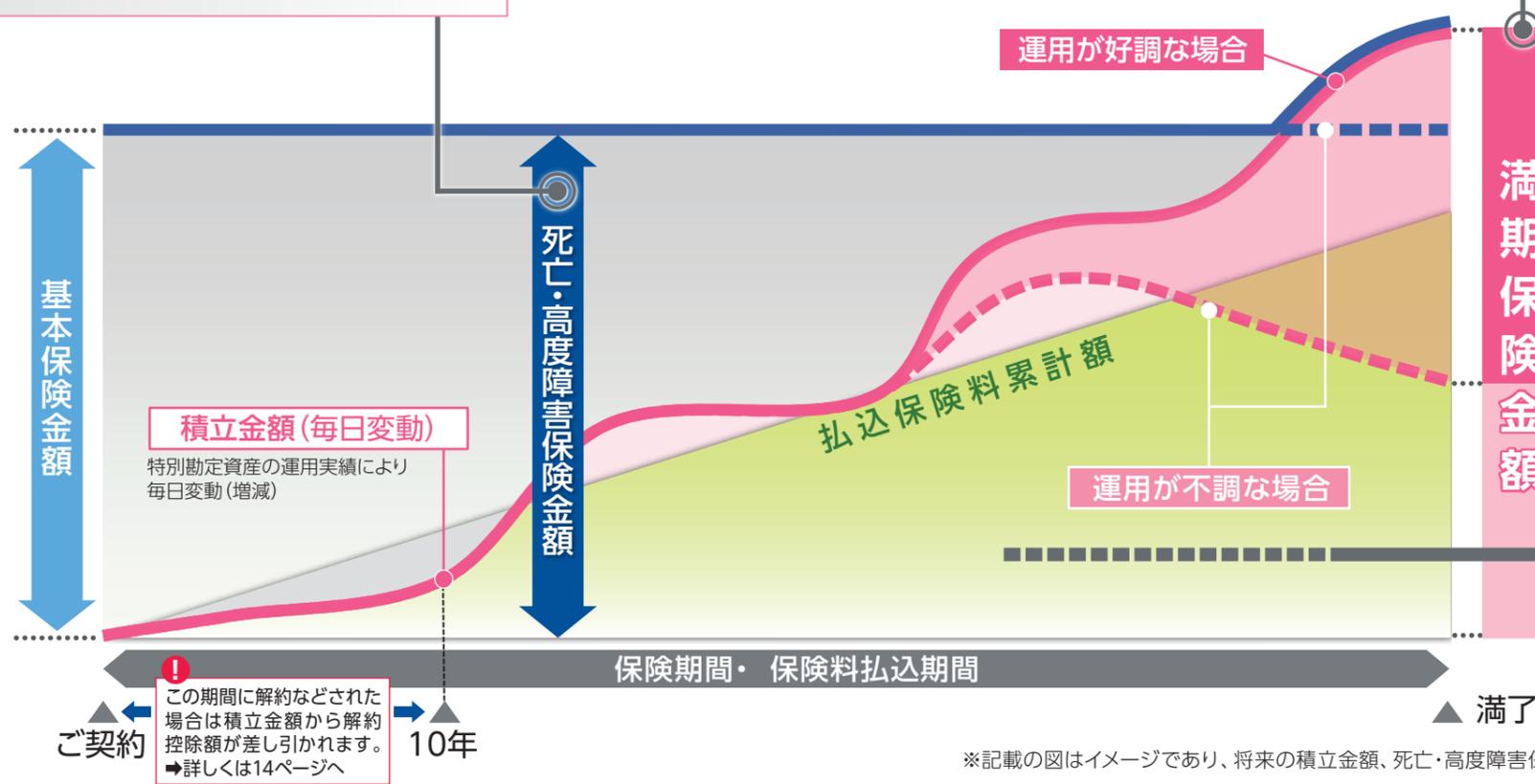
初めて診断確定されたとき\*2

急性心筋梗塞

脳卒中

- 手術を受けたとき
- 継続5日以上入院したとき

\*2 上皮内ガンは除きます。また、保障の開始(責任開始日)から90日以内に診断確定された場合は保険料のお払込みを免除しません。



※記載の図はイメージであり、将来の積立金額、死亡・高度障害保険金額、満期保険金額などを保証するものではありません。

## ご契約例

主契約 …… ユニット・リンク保険(有期型)  
特約 …… 3大疾病保険料払込免除特約  
契約年齢・性別 …… 30歳・男性  
保険期間・保険料払込期間 …… 30年満了  
保険料払込方法 …… 口座振替月払  
基本保険金額 …… 917万円  
月払保険料 …… 20,000円

(2025年4月現在、単位：万円)

経過年数	年齢	払込保険料累計	死亡・高度障害保険金				払いもどし金			
			運用実績				運用実績			
			-3%	0%	3%	6%	-3%	0%	3%	6%
1年	31歳	24	917	917	917	917	2	2	3	3
3年	33歳	72	917	917	917	917	42	44	47	50
5年	35歳	120	917	917	917	917	79	86	94	102
10年	40歳	240	917	917	917	917	164	191	222	260
20年	50歳	480	917	917	917	917	283	379	518	725
30年*3	60歳	720	917	917	917	1,566	372*4	568*4	917*4	1,566*4

\*3 保険期間満了時

\*4 この数値は、満期保険金を記載しています。

※契約年齢とは、ご契約日における被保険者の年齢のことをいいます。

※経過年数とは、ご契約日から起算した年数です。各数値は年単位の保険料が全額払い込まれたことを前提とし、各保険年度の最後の日を基準に計算しています。

※万円未満の端数は切り捨てて表示しています。



## ご注意ください

- ユニット・リンク保険(有期型)は、**積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが変動(増減)するしくみの変額保険**です。左記例表は、例示の運用実績が一定でそのまま推移したものと仮定して計算しています。**将来のお支払額をお約束するものではありません。**
- 各運用実績(-3%、0%、3%、6%)は、特別勘定にかかわるもので、保険料全体に対するものではありません。また、諸費用控除後の数値を表示しています。諸費用について詳しくは14ページ「費用について」をご覧ください。
- 運用実績(-3%、6%)については、**上限または下限を示すものではありません。**したがって、実際の払いもどし金額が例示の金額を下回る場合もあります。
- 払いもどし金額については、解約控除額を差し引いた額を表示しています。
- 死亡・高度障害状態になったときの積立金額が基本保険金額を上回るときは、積立金額を死亡・高度障害保険金としてお支払いします。
- 解約されると以後の保障はなくなります。

**Check!** 各種ご契約内容の変更などには所定の要件があります

- 各変更、年金でのお受け取りなどに際しては、所定のお手続きが必要です。また、アクサ生命所定の要件があります。
- 積立金額、払いもどし金額および満期保険金額は特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）します。**払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。**
- 払いもどし金額、満期保険金額やご契約の内容などによっては**各お取り扱いができない場合があります。**

**PLAN 1** 終身保険に変更

被保険者の同意を得て、ご契約の全部を、健康状態にかかわらず、保険料一時払の終身保険\*に変更できます。死亡・高度障害保障が一生続きます。



- \*無配当終身保険。
- 変更にはアクサ生命所定の要件があります。また、所定のお手続きが必要となります。
  - 変更にあたっては、変更日前日の積立金額（貸付金がある場合にはその元利金を差し引いた額）を無配当終身保険の責任準備金に充当します。
  - 無配当終身保険の保険金額は、変更日前日におけるユニット・リンク保険（有期型）の基本保険金額を限度とします。
  - 変更日前日の積立金額のうち無配当終身保険の責任準備金に充当されない金額があるときは、ユニット・リンク保険（有期型）のご契約者に払いもどします。
  - ユニット・リンク保険（有期型）は、変更日前日に消滅したものとしてお取り扱いします。
  - 無配当終身保険へ変更後は特別勘定での運用は行われません。

**PLAN 2** 年金でのお受け取り

「年金払特約(06)」を中途付加することにより、満期保険金を年金としてお受け取りいただけます。  
例：満期保険金を10年確定年金として受け取る場合

- 年金種類を選択できます。
- 10年保証期間付終身年金(定額型・递增型)
  - 確定年金(3・4・5・10・15・20年)



- 年金払特約(06)の中途付加にはアクサ生命所定の要件があります。
- この特約の年金額はご契約時に定まるものではありません。将来お受け取りになる年金額は年金基金設定日の基礎率(予定利率、予定死亡率など)などにもとづいて計算した金額となります。
- 確定年金支払期間中に年金受取人が死亡されたときは、残存支払期間の未払年金の現価を一括してお支払いします。
- 終身年金の保証期間中に年金受取人が死亡されたときは、残存保証期間の未払年金の現価を一括してお支払いします。
- 年金額が10万円未満の場合は年金払のお受け取りはできません。
- 年金でお受け取りになる場合、以後特別勘定での運用は行われません。
- ご契約者または年金受取人よりお申出があったときに、アクサ生命がこの特約を取り扱っていない場合は、この特約を付加することはできません。

**Check!** ご注意ください

運用実績によってはお受取金額が払込保険料累計額を下回り、**損失が生じるおそれ**があります。また、10年未満の解約・減額・払済保険への変更の際は**解約控除がかかります。**

投資リスクについて詳しくは **11** ページ

解約控除について詳しくは **14** ページ

**PLAN 3** 一時金でのお受け取り

満期保険金(中途解約の場合は、払いもどし金)を一時金としてお受け取りいただけます。  
例：満期保険金を一時金として受け取る場合



保険料のお払込みが困難になった場合について

■基本保険金額の減額

- 基本保険金額の減額は、アクサ生命の本社が必要書類を受け付けた日(減額日)の翌日から効力を生じます。
- 基本保険金額を減額される場合には、**同じ割合で積立金額も減額されたものとします。**
- 基本保険金額の減額部分は解約されたものとして取り扱い、減額分に対応する払いもどし金をお支払いします。  
※減額部分にも解約控除がかかります。

■ご契約の解約

- ご契約を解約された場合、払いもどし金があるときは、払いもどし金をお支払いします。
- 払いもどし金は、アクサ生命の本社または指定した場所で必要書類を受け付けた日(解約日)の積立金額から解約控除額を差し引いた金額をお支払いします。  
※解約されるとご契約は消滅し、以後の保障はなくなります。

■払済保険への変更

- 自動払済定期保険への変更  
払いもどし金がある場合、保険料の支払猶予期間満了日の翌日に自動的に保険金額を定額とする保険料払込済の定期保険に変更します。変更後は、特別勘定での運用はいたしません。
- 定額払済定期保険、ユニット・リンク払済保険への変更  
保険料のお払込みを中止し、保険料払込済の保険に変更することができます。  
※各種払済保険への変更にも解約控除がかかります。

「基本保険金額の減額」「ご契約の解約」「払済保険への変更」について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

# 特別勘定

特別勘定は最大10種類を選択し、組み合わせることができます。

アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク

## ■ 特別勘定の種類

特別勘定は13種類。最大10種類を選択し、組み合わせることができます。ご契約後も変更可能です。



※各特別勘定の概要は、11～13ページをご覧ください。また、各特別勘定の詳細については、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

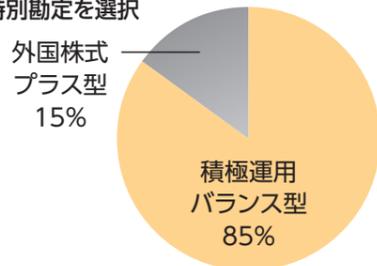
## ■ 特別勘定の選択

ご契約時に、保険料を繰り入れる1つまたは複数の特別勘定をお選びいただけます。複数の特別勘定をお選びいただく場合は、各特別勘定への保険料の繰入割合を指定することができます。繰入割合は、保険料払込期間中であれば、ご契約後も変更することができます。

〈例1〉1つの特別勘定を選択



〈例2〉複数の特別勘定を選択



※上記は特別勘定の選択例を示したもので、例示の特別勘定を推奨するものではありません。  
※上記の繰入割合は保険料をお払いいただくときに各特別勘定に繰り入れる割合です。繰入後の積立金は、各特別勘定の運用実績に応じて変動しますので、積立金における割合が保険期間中一定に保たれるわけではありません。

## ■ 特別勘定へ繰り入れる保険料

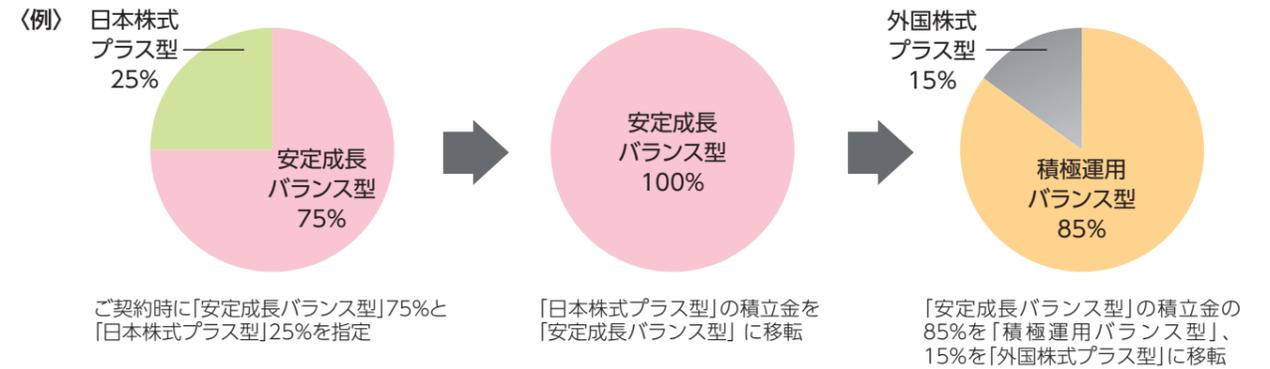
- お払いいただく保険料から、保険関係費のうちご契約の締結・維持などに必要な費用を控除した金額が、特別勘定に繰り入れられます。
- 特別勘定へ繰り入れられた金額が特別勘定で運用され、この資産から、保険関係費のうち死亡保障などに必要な費用や運用関係費を差し引いて、日々の特別勘定資産が評価されます。
- 保険料の特別勘定への繰入日は以下のとおりです。

●「保険給付の責任を開始する時期に関する特約」を付加した場合			繰入日
【月払の場合】 第1回保険料	第1回保険料のお払いがあった日*2	月の初日から15日までの場合	第1回保険料のお払いがあった日の属する月の翌月1日
【年払*1の場合】 1回目に繰り入れる月払保険料		月の16日から末日までの場合	第1回保険料のお払いがあった日の属する月の翌月16日
【月払の場合】2回目以後の保険料 【年払の場合】2回目以後に繰り入れる月払保険料			月単位の契約応当日*3
●「保険給付の責任を開始する時期に関する特約」を付加しない場合			繰入日
【月払の場合】第1回保険料 【年払*1の場合】1回目に繰り入れる月払保険料			ご契約日
【月払の場合】2回目以後の保険料 【年払の場合】2回目以後に繰り入れる月払保険料			月単位の契約応当日

\*1 年払保険料は分割し、月払保険料として毎月特別勘定に繰り入れます。  
\*2 第1回保険料が口座振替により払い込まれた場合、振替日に第1回保険料のお払いがあったものとします。(団体取扱の場合など、ご契約によっては異なる場合があります。)  
\*3 【月払の場合】第1回保険料の繰入日がご契約日の直後に到来する月単位の契約応当日以後となる場合、払込期月の到来した2回目以後の保険料は第1回保険料と同日に繰り入れます。  
【年払の場合】1回目の繰入日がご契約日の直後に到来する月単位の契約応当日以後となる場合、その月単位の契約応当日までに繰り入れるべき月払保険料は、1回目と同日に繰り入れます。

## ■ 積立金の移転

- 選択されている特別勘定の積立金を、他の特別勘定にいつでも移転することができます。
- 書面による移転申込みの場合：月1回の移転は無料、2回目からは1回につき2,300円
  - インターネットによる移転申込みの場合：月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円

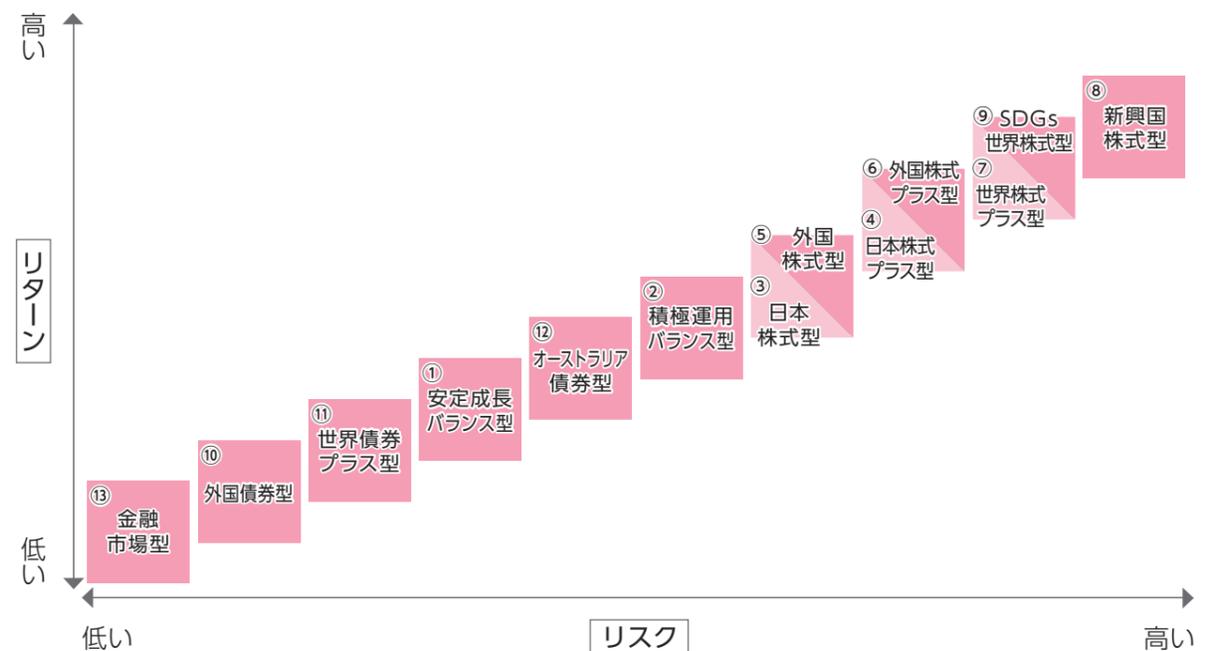


※上記は積立金の移転例を示したもので、例示の特別勘定を推奨するものではありません。  
※積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。  
※積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

## ■ 各特別勘定の期待リターンとリスク(イメージ)

一般的にリスクを小さくしようとすれば、期待されるリターンも限られます。また、大きなリターンを期待すれば、その分リスクも大きくなります。各特別勘定は、その資産内容によって期待リターンとリスクが異なり、下図はそのイメージを示したものです。

特別勘定の選択にあたっては、お客さまのこれまでの投資経験をふまえ、どの程度のリターンを期待し、どの程度のリスクまで許容できるかをお考えいただいたうえで選びいただくことが大切です。選択される際の参考にしてください。



※上図はアクサ生命が各特別勘定のリターン・リスクをイメージ化したものであり、将来のリターンやリスクの水準を保証するものではありません。

# 特別勘定の種類と運用方針 (2025年5月現在)

アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク



## ご契約者が損失を被ることがあります(投資リスクについて)

- この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額保険です。
  - 特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、**ご契約者が損失を被ることがあります。**
  - ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが**払込保険料総額を下回る場合があります。(払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。)**
  - 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。
- ※特別勘定資産の運用に関する事項の詳細については「特別勘定のしおり」をご確認ください。

投資信託の選定はアクサ生命の資産運用部門が行います。ご契約者の中長期的な資産形成を実現するために、複数の候補から、過去実績などの定量的観点と、運用プロセスや運用体制の分析などの定性的な観点から総合的に評価し、最も適していると判断した投資信託を選定します。

- 特別勘定の種類、運用方針および委託会社などの運用協力会社は、法令などの改正または効率的な資産運用が困難になるなどの理由により、変更されることがあります。なお、委託会社などの運用協力会社については、運用成績の悪化など、アクサ生命がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
- 特別勘定には、各種支払などに備え、一定の現金、預金などを保有することがあります。

### ① 安定成長バランス型 主に国内外の株式・債券へ分散投資し、中長期的に安定した投資成果を目標としています。債券配分が大きい。

運用方針	運用関係費※
主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律にしたがいリバランス*1を行います。	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.44990%程度*2</b>

基本資産配分比率、利用する投資信託については以下のとおりです。

基本資産配分比率	利用する投資信託		
	投資信託名	運用方針	委託会社
日本株式 20%	セレクション・ジャパン・エクイティ	※【④日本株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
外国株式 20%	アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション	※【⑥外国株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
日本債券 30%	日本債券インデックスファンドVA (適格機関投資家専用)	主として、マザーファンド*3の受益証券を通じて、わが国の公社債等(各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。)に投資しベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	大和アセットマネジメント株式会社
外国債券 30%	アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド	主に日本を除く世界各国が発行する国債への投資を通じて、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本))に連動した投資成果をめざします。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

- \*1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- \*2 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。
- \*3 「ダイワ日本債券インデックスマザーファンド(BPI)」のことをいいます。

※運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。

### ② 積極運用バランス型 主に国内外の株式・債券へ分散投資し、中長期的に安定した投資成果を目標としています。株式配分が大きい。

運用方針	運用関係費※
主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律にしたがいリバランス*1を行います。	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.50355%程度*2</b>

基本資産配分比率、利用する投資信託については以下のとおりです。

基本資産配分比率	利用する投資信託		
	投資信託名	運用方針	委託会社
日本株式 25%	セレクション・ジャパン・エクイティ	※【④日本株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
外国株式 35%	アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション	※【⑥外国株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
日本債券 20%	日本債券インデックスファンドVA (適格機関投資家専用)	主として、マザーファンド*3の受益証券を通じて、わが国の公社債等(各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。)に投資しベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	大和アセットマネジメント株式会社
外国債券 20%	アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド	主に日本を除く世界各国が発行する国債への投資を通じて、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本))に連動した投資成果をめざします。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

### ③ 日本株式型 国内の株式を主な投資対象として、TOPIX(東証株価指数)に連動した投資成果をめざします。

基本資産配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
日本株式 100%	国内株式インデックス・ファンドVA (適格機関投資家専用)	マザーファンド*4の受益証券への投資を通じて、主としてわが国の証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、TOPIX(東証株価指数、配当込み)の動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。	ブラックロック・ジャパン株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.06050%程度</b>

### ④ 日本株式プラス型 日本の株式を主な投資対象として、日本の株式市場の動きを上回る成果を目標としています。

基本資産配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
日本株式 100%	セレクション・ジャパン・エクイティ	純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.82600%程度</b>

### ⑤ 外国株式型 主に日本を除く先進国の株式に投資を行い、MSCIコクサイ指数に連動する投資成果をめざします。

基本資産配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
外国株式 100%	外国株式インデックスファンドVA (適格機関投資家専用)	主として、マザーファンド*5の受益証券を通じて、外国の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、投資成果をMSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。	大和アセットマネジメント株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.06160%程度</b>

### ⑥ 外国株式プラス型 日本以外の世界各国の上場株式に投資して、世界各国の株式市場の動きを上回る成果をめざします。

基本資産配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
外国株式 100%	アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション	純資産価額の3分の2以上を、主に先進国(日本除く)の規制された市場に籍を置く株式、上場株式、取引価格がある株式、または流通株式に投資することにより、分散を図ったポートフォリオのアクティブ運用による長期的な元本の増大を目的として運用を行います。ベンチマークとしてMSCIコクサイ・インデックス(円ベース・税引後配当込み)を設定し、中長期で同インデックスを超える運用成果を追求します。なお、原則として純資産価額の40%程度については同インデックスの動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.49500%程度</b>

### ⑦ 世界株式プラス型 日本を含む世界各国の上場株式に投資して、世界各国の株式市場の動きを上回る成果をめざします。

基本資産配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
世界株式 100%	アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド	純資産価額の3分の2以上を、世界の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてキャピタル・インターナショナル・マネジメント・カンパニー-SARLを副投資マネージャーに任命しました。)	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.74300%~0.77300%程度*6</b>

- \*4 「インデックス・マザー・ファンド国内株式」のことをいいます。
- \*5 「外国株式インデックスマザーファンド」のことをいいます。
- \*6 「世界株式プラス型」の運用関係費は、各月の前月における日次の純資産額の平均値に応じて毎月見直されます。

## ⑧ 新興国株式型

新興国の株式に投資し、新興国の株式市場の動きに連動した投資成果をめざします。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
新興国 株式 100%	エマーシング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>	マザーファンド*7受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.55000%程度</b>

説明動画  
はこちら



## ⑨ SDGs世界株式型

サステナブル投資に焦点を当て、主に日本を含む世界各国の上場株式に投資を行い、長期的な成長をめざします。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
世界株式 100%	エピック・グローバル・エクイティ・オポチュニティーズ・ファンド	サステナブル投資に焦点を当てた積極的な分散投資のポートフォリオにより、中位以上のリスクレベルで長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価値の80%以上を実質的に株式に配分します。本ファンドは、SFDR第9条*8の開示要件の対象となる金融商品です。	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	投資信託の純資産額に対して <b>年率1.27000%程度</b>

説明動画  
はこちら



## ⑩ 外国債券型

主に日本を除く世界各国の公社債に投資を行い、FTSE世界国債インデックスに連動する投資成果をめざします。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
外国債券 100%	外国債券インデックスファンドVA (適格機関投資家専用)	主として、マザーファンド*9の受益証券を通じて、外国の公社債に投資し、投資成果をFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行います。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。	大和アセットマネジメント株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.06160%程度</b>

説明動画  
はこちら



## ⑪ 世界債券プラス型

世界各国の投資適格債に分散投資して、長期的な成長を目標としています。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
世界債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンダー3	マザーファンド*10受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	アライアンス・パースタイン株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.57200%程度</b>

説明動画  
はこちら



## ⑫ オーストラリア債券型

豪ドル建の国債、州政府債、公社債などに投資して、安定した収益の確保をめざします。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
オーストラリア債券 100%	アライアンス・パースタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンド*11受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス(円換算)をベンチマークとします。	アライアンス・パースタイン株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.34100%程度</b>

説明動画  
はこちら



## ⑬ 金融市場型<sup>\*12</sup>

円建の短期公社債や短期金融商品を主な投資対象として、安定した収益の確保をめざします。

基本資産 配分比率	利用する投資信託			運用関係費※
	投資信託名	運用方針	委託会社	
短期 金融資産 100%	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	マザーファンド*13受益証券への投資を通じて、主として円建の短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.03575%~ 0.50600%程度<sup>*14</sup></b>

説明動画  
はこちら



\*7 「エマーシング株式インデックス・マザーファンド」のことをいいます。

\*8 「SFDR第9条」とは、欧州連合(EU)のサステナブルファイナンス開示規則(SFDR)で最も厳格な開示要件を定めるものであり、本ファンドはSFDR第9条の開示要件の対象であるため、ファンドが投資家(この場合の「投資家」はアクサ生命を指します)に対して契約前の開示でサステナブル投資をどのように達成するかを説明する必要があります。

\*9 「外国債券インデックスマザーファンド」のことをいいます。

\*10 「アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド」のことをいいます。

\*11 「アライアンス・パースタイン・オーストラリア債券マザーファンド」のことをいいます。

\*12 「金融市場型」は株価、債券価格、為替などの変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利(マイナス金利を含む)環境下では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除などにより積立金が減少することもありますのでご注意ください。

\*13 「アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド(適格機関投資家私募)」のことをいいます。

\*14 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

※運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。

## 費用について

お客さまにご負担いただくこの保険の費用です。

アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク



### お客さまにご負担いただく費用があります

- この保険にかかる費用には、**ご契約の締結・維持、死亡保障などにかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用**があります。
- 払込保険料からご契約の締結・維持などに必要な費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。したがって、**払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。**
- 特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用や運用関係費を特別勘定資産から定期的に控除します。
- ご契約の締結・維持、死亡保障などに必要な費用については、被保険者の年齢・性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。



### 10年未満は解約・減額・払済保険への変更時に費用がかかります

- 解約日\*1における**保険料払込年月数\*2が10年未満の場合**に、積立金額から解約控除額が差し引かれます。
- 解約控除額は、基本保険金額に対し、保険料払込年月数\*2により計算した額となります。
- 特に早期に解約された場合は、解約控除額が大きくなり、払いもどし金はまったくない場合もあります。**
- 解約控除額は保険料払込年月数\*2、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。
- 保険料払込年月数\*2が10年未満の場合にユニット・リンク払済保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。**特に早期に変更を行った場合は、解約控除額が大きくなり、変更のお取り扱いができない場合もあります。**
- 基本保険金額を減額されたときは、減額は解約されたものとしてお取り扱いしますので、減額部分にも解約控除がかかります。

\*1 減額日も含みます。

\*2 年払の場合は、月払保険料として特別勘定に繰り入れた年月数となります。

### ■ 保険料払込時および保険期間中にかかる費用 (以下の各費用の合計額をご負担いただきます。)

#### 保険関係費

保険関係費とは、お払込みいただいた保険料または積立金から控除される諸費用です。保険関係費の細目は下表のとおりです。

保険関係費の細目	取扱内容
① 保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用	特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。
② 特別勘定の管理に必要な費用	積立金額に対して年率0.50%(0.50%/365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。*1
③ 基本保険金額保証に関する費用	また、積立金額に対して年率0.25%(0.25%/12ヵ月)を乗じた金額を、月単位の契約応当日始*2に積立金から控除します。*1
④ 死亡保障などに必要な費用(危険保険料)	月単位の契約応当日始*2に積立金から控除します。*1
⑤ 保険料払込免除に関する費用	保険料に対して0.1%~0.2%(保険料払込期間に応じます。)を乗じた金額を、特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。 ※このほか、3大疾病保険料払込免除特約を付加した場合は、付加した特約による保険料払込免除に関する費用(被保険者の性別、年齢などにより異なります。)を保険料から控除します。

\*1 「保険給付の責任を開始する時期に関する特約」を付加した場合は、第1回保険料(年払の場合は、1回目に繰り入れる月払保険料をいいます。)の特別勘定への繰入の際に、ご契約日から第1回保険料繰入日前までの費用としてアクサ生命所定の方法で計算した金額を積立金額から控除します。

\*2 「保険給付の責任を開始する時期に関する特約」を付加した場合は、第1回保険料(年払の場合は、1回目に繰り入れる月払保険料をいいます。)の繰入日の後に到来する月単位の契約応当日始とします。

※保険関係費(上表①~⑤)の総額は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。

※年払保険料は分割し、月払保険料として毎月特別勘定に繰り入れます。

※契約条件に関する特約(08)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。(特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。)特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は「契約条件・特別条件承諾書」でご確認ください。

項目	費用	ご負担いただく時期	
運用関係費※	安定成長バランス型	投資信託の純資産額に対して年率0.44990%程度*1	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。
	積極運用バランス型	投資信託の純資産額に対して年率0.50355%程度*1	
	日本株式型	投資信託の純資産額に対して年率0.06050%程度	
	日本株式プラス型	投資信託の純資産額に対して年率0.82600%程度	
	外国株式型	投資信託の純資産額に対して年率0.06160%程度	
	外国株式プラス型	投資信託の純資産額に対して年率0.49500%程度	
	世界株式プラス型	投資信託の純資産額に対して年率0.74300%～0.77300%程度*2	
	新興国株式型	投資信託の純資産額に対して年率0.55000%程度	
	SDGs世界株式型	投資信託の純資産額に対して年率1.27000%程度	
	外国債券型	投資信託の純資産額に対して年率0.06160%程度	
	世界債券プラス型	投資信託の純資産額に対して年率0.57200%程度	
オーストラリア債券型	投資信託の純資産額に対して年率0.34100%程度		
金融市場型	投資信託の純資産額に対して年率0.03575%～0.50600%程度*3		

※運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。

※運用関係費は信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

※運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

\*1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

\*2 「世界株式プラス型」の運用関係費は、各月の前月における日次の純資産額の平均値に応じて毎月見直されます。

\*3 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

## ■ 解約・減額・払済保険への変更時にかかる費用

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日または減額日における保険料払込年月数*が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数*により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※解約控除額は保険料払込年月数\*、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※保険料払込年月数\*が10年未満の場合、基本保険金額の減額やユニット・リンク払済保険への変更などにも解約控除がかかります。

\*年払の場合は、月払保険料として特別勘定に繰り入れた年月数となります。

## ■ 積立金の移転にかかる費用

項目	費用	ご負担いただく時期
積立金移転費用	【書面による移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき2,300円	積立金移転時に積立金から控除します。
	【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	

※積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。

※積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

## ■ 年金払特約(06)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

\*記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

# ！ 特にご注意 いただきたい事項

このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご覧ください。

「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」は、ご契約についての大切な事項。必要な保険の知識などについて、「特別勘定のしおり」は、特別勘定資産の運用などについてご説明しています。必ずご一読ください。「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」はアクサ生命ホームページ(www.axa.co.jp/)からもご確認ください。

「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」はこちらからもご覧になれます。



### 契約年齢について

- 0歳～65歳
- 契約年齢とは、ご契約日における被保険者の年齢のことをいいます。

### 保険期間・保険料払込期間について

- 50歳／55歳／60歳／65歳／70歳／75歳／80歳満了10年／15年／20年／25年／30年満了

※保険期間と保険料払込期間は同一となります。また、最短10年から指定していただけます。

契約年齢により、保険期間・保険料払込期間のお取り扱いが異なりますので、詳しくは募集代理店の担当者におたずねください。

### 保険料払込方法について

- 月払／年払

### 主契約(ユニット・リンク保険(有期型))について

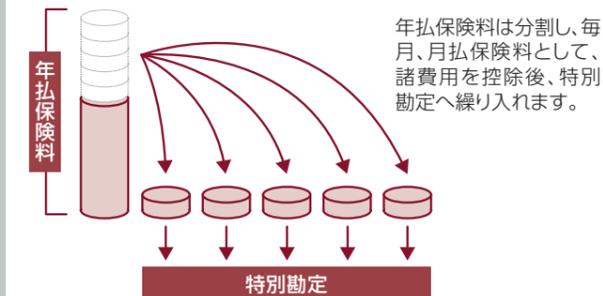
- お支払いの対象となる高度障害状態について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

### 主契約の保険料払込免除について

- 次の場合に以後の保険料のお払込みを免除します。
  - ・責任開始期以後に発生した所定の不慮の事故によるケガを原因として、その事故の日からその日を含めて180日以内に所定の障害状態に該当したとき。

### 年払契約の保険料を分割し、毎月特別勘定に繰り入れる取扱いに関する特則について

- この特則は、年払により保険料をお払込みいただく場合に適用します。(以下、年払で払い込んでいただく保険料を「年払保険料」といいます。)
- 年払保険料は、月払保険料(普通保険料率による月払契約の場合の保険料)にアクサ生命所定の係数を乗じた金額とします。
- 年払保険料は分割し、月払保険料として、毎月特別勘定に繰り入れます。
- 特別勘定に繰り入れる際に、月払保険料から保険関係費のうちご契約の締結、維持などに必要な費用を控除します。
- アクサ生命所定の範囲内で、年払契約を月払契約に変更することができます。



※「保険給付の責任を開始する時期に関する特約」を付加したご契約は、第1回保険料の払込日により繰入日が異なります。

### 3大疾病保険料払込免除特約について

- 次の場合に以後の保険料のお払込みを免除します。責任開始期以後に発病した疾病を原因とした場合に限りです。

ガン	初めて診断確定されたとき*1
急性心筋梗塞	急性心筋梗塞または脳卒中の治療を目的として、①②のいずれかに該当したとき ①手術*2を受けたとき ②継続5日以上入院したとき
脳卒中	

- \*1 上皮内ガンは除きます。また、保障の開始(責任開始日)から90日以内に診断確定された場合は保険料のお払込みを免除しません。ただし、責任開始日からその日を含めて90日経過後に、責任開始日から90日以内に診断確定されたガンとは因果関係のない新たなガンと診断確定されたときは、保険料のお払込みを免除します。

- \*2 医科診療報酬点数表によって手術料の算定対象として列挙されている手術に限りです。

※急性心筋梗塞または脳卒中を発病しただけでは、保険料のお払込みを免除しません。所定の治療を受けたときに保険料のお払込みを免除します。

- 保険料払込免除事由該当後は以下のお取り扱いはできません。
  - ・基本保険金額の減額
  - ・払済保険への変更
  - ・無配当終身保険への変更

- この特約のみの解約はできません。
- この特約の中途付加のお取り扱いはありません。
- 払済保険に変更したときは、この特約は消滅します。

### 払いもどし金について

- 解約された場合、払いもどし金がある場合は払いもどし金をお支払いします。
- 3大疾病保険料払込免除特約の払いもどし金はありません。

### リビング・ニーズ特約について

- 被保険者の余命が6ヵ月以内と判断されるときに、この特約の保険金受取人からのご請求により、死亡保険金の全部または一部について、この特約により保険金をお支払いします。
- 同一被保険者につき通算して3,000万円を上限として、基本保険金額から保険金額を指定していただけます。この指定された保険金額から、この特約の保険金の請求日から6ヵ月間の指定保険金額に対応する利息および保険料、ならびに貸付金がある場合にはその元利合計額を差し引いた金額をお支払いします。
- 請求日(請求書類がアクサ生命の本社、支社、営業店などに到着した日)が保険期間の満了前1年以内である場合、この特約の保険金はお支払いいたしません。
- 死亡保険金の全部をお支払いした場合には、ご契約はこの特約の保険金の請求日にさかのぼって消滅します。
- この特約によるお支払いは、1契約について1回を限度とします。

### 指定代理請求特約について

- ご契約者が被保険者の同意を得てこの特約を付加した場合、所定の保険金などの受取人が保険金などを請求できない所定の事情があるときに、保険金などの受取人に代わりあらかじめ指定された指定代理請求人が保険金などを請求することができます。

### 保険給付の責任を開始する時期に関する特約について

- この特約を付加した場合、ご契約のお申込み、または告知のいずれか遅い日が責任開始日となり、この日からアクサ生命はご契約上の責任（保障）を開始します。
- ご契約日は、責任開始日の属する月の翌月1日です。
- この特約を付加した場合、第1回保険料のお払込前のご契約には払いもどし金はありません。
- この特約のみの解約はできません。
- この特約の中途付加のお取り扱いはありません。

### 年金払移行特約について

- アクサ生命所定の期間経過後、この特約を付加することにより、ご契約の満了までの保障に代えて、積立金などを年金払に移行することができます。
- 年金払移行特約の中途付加にはアクサ生命所定の要件があります。
- この特約の年金額はご契約時に定まるものではありません。将来お受け取りになる年金額は年金支払開始日の前日の所定の積立金額などの合計額をもとに、年金支払開始日の基礎率（予定利率、予定死亡率など）などにもとづいて計算した金額となります。
- ご契約の全部を年金払に移行した場合、以後の死亡・高度障害保障はなくなります。
- この特約を適用後は、特別勘定では運用いたしません。
- ご契約者よりお申出があったときに、アクサ生命がこの特約を取り扱っていない場合は、この特約を付加することはできません。

### 高額割引制度について

- この保険には、高額割引制度のお取り扱いがあります。

### 契約者貸付制度について

- この保険には、契約者貸付制度のお取り扱いがあります。
- 保険料のお払込みを免除された場合もご利用いただけます。
- 契約者貸付制度のご利用にはアクサ生命所定の条件があります。

### 契約者配当金について

- この保険には、契約者配当金はありません。

## ご契約後も Emma by アクサ でしっかりサポート!

ご契約内容や 保障内容の確認をはじめ、さまざまなことができます!

1

積立金・払いもどし金などの  
運用状況をすぐに確認

2

積立金移転・繰入割合の変更  
をいつでもお手続き

3

住所変更・家族情報登録などの  
各種お手続きが簡単に

積立金は  
いくらになって  
いるのかな…?

最新の積立金額や払いもどし金額が  
わかります

特別勘定への  
繰入割合を  
変更したい\*

特別勘定の選択(繰入割合の変更)が  
できます

これから支払う保険料の特別勘定への繰入割合を変更できます。

これまでの  
運用実績を  
見たい

積立金額やファンド別騰落率の推移などが  
わかります

過去18ヵ月分の積立金額、ファンド別騰落率の推移を、表とグラフで確認できます。

契約日

積立金をほかの  
特別勘定に  
移転したい\*

積立金の移転ができます

現在の特別勘定の積立金を他の特別勘定に移転することができます。

月1回まで無料!

\* お申出時点でご契約者が18歳未満の場合、Emma by アクサからはお手続き いただけません。

## LINEアカウント との連携でさらに便利に

- ※2024年11月1日現在。サービスの内容は予告なく中止、変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ※「LINE」はLINEヤフー株式会社の商標または登録商標です。
- ※記載の画面はすべてイメージです。実際の表示とは異なる場合があります。

